

# 小学校中学年向け道徳副読本における「礼儀」の内容について

## On Content of Good Manners in the Sub-Textbook on Moral for Middle-Grade Elementary School Students

柴崎 直人  
Naoto SHIBAZAKI

本研究では小学校中学年の副読本における「礼儀」に関する教材内容の傾向を分析し、その扱いについて検討した。低学年向けの教材では「あいさつ」を基底とする言語活動とその充実への対応などの学習指導要領に沿った内容が示されたが、3年生と4年生の中学年用の副教材においてもなお「あいさつ」を取り上げる傾向が強く見られた。そして小学校における礼儀の教育が人々から求められているにもかかわらず、低学年から中学年に進むにつれてその扱いは少なくなること、動作についても資料の6割以上が「あいさつ」に関係していることがわかった。これらの分析結果から、副読本作成関係者をはじめとした人々の礼儀に対する認識において、「礼儀＝あいさつ」という固定観念の存在の傾向と、日常生活における礼儀の場面・動作に対する認識が低い傾向が明らかになった。以上から道徳の副読本における「礼儀」教材の選定においては、「礼儀＝あいさつ」という固定観念を払拭して、日常生活での具体的な礼儀への視点をもちながら、多様かつ適切な内容を取り上げる必要があることが示唆された。

キーワード：道徳、副読本、小学校中学年、礼儀、マナー

### 1. 問題の所在

平成20年に改訂・告示された小学校学習指導要領「第3章 道徳」では、第2 内容〔第3学年及び第4学年〕の「2 主として他の人とかかわりに関すること」(1)で「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。」とある。1・2学年は「(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。」とあり、道徳副読本においては挨拶を中心とした「気持ちの良い言動」に関して教材選定がなされている。

低学年である1・2年生教材の「礼儀」においては挨拶が中心であった副読本の内容は、中学年である3・4年生「礼儀」のねらいである「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。」においてはどのように変わるのであろうか。

柴崎(2011)において、3年生の教材では1・2年生において主要な内容として見られなかった「動作」の採用が示された。しかし教材の主たる内容としては17項目のうち挨拶・言葉が13項目で全体の76%を占めており、「礼儀」の内容が3年次においても主として言語的なものに傾く状況が伺え、やはりなお「あいさつ」を取り上げる傾向が強く見られた。これは低学年との連続性を意識したとも考えられるが、礼儀を教えることはあいさつを教えることとの固定観念の強さや、適切な動作の知識や技能を持たない実態に起因するとも考えられる。このような傾向は、続く4年生教材においても同様なのだろうか。そこで本稿では、学習指導要領「礼儀」の目

標および内容を手がかりに小学校中学年道徳副読本の傾向を分析し、その在り方について検討する。

### 2. 方法

#### 2-1 分析対象とした副読本

今回の分析に用いた資料としては、平成20年に改定された文部科学省の学習指導要領に準拠して作成され、平成23年度に使用されていた道徳副読本のうち、入手・内容確認が可能なものをその対象とした。分析した道徳副読本は、小学1年～4年(計6冊)×10種(9社)(学研、学校図書、教育出版、光文書院、東京書籍、日本標準、日本文教出版(以下日本文教)、日本文教出版(旧大阪書籍より日本文教出版に出版委譲したもの。以下日本文教Bとする)文溪堂、光村図書)合計40冊であった。

#### 2-2 手続き

収集した小学校中学年向け副読本資料において、出版社が「礼儀」の題材に区分した資料をすべて抽出し、それらにどのような内容が含まれているのかを分類し分析した。これは副読本の巻末に「学習指導要領との関連」「資料内容一覧」などの名称で掲載される表において、「2-(1) 礼儀」として明記されたものである。なお、分析の手掛かりとしては、学習指導要領の「道徳の内容」で示される文言からとくに重要と思われる語句を採用し全学年に共通して6種類の分類項目を用いた(あいさつ、言葉、動作、大切さ、真心、時と場、形にこめられた尊重の気持：以下「形と尊重」)。資料に含まれる礼儀の内

容の判定には、各出版社が作成して学校教員に頒布する学習指導案および年間指導計画の「ねらい」「指導内容」を用いた。またそれらに明示されなくとも、教材上に明らかな礼儀に関する学習内容（挿絵における「望ましい立礼」の動作など）も判断の手掛りとした。

### 3. 結果

#### 3-1 資料数における「礼儀」の占める割合

表1に9社10種40冊の小学校副読本において礼儀を扱っている資料数を示した。資料総数は77であった。なお、1冊の副読本に掲載されている資料数は、すべての出版社において、小学校1年用のものが34資料+補足資料、小学校2～4年用のものが35資料+補足資料であった。総資料数は1・2年が各340、3～4年が各350であった。

表1 学年別「礼儀」資料数

	1年	2年	3年	4年
学 研 1	2	2	2	2
学 校 図 書	2	2	2	2
教 育 出 版	3	2	2	2
光 文 書 院	2	2	2	1
東 京 書 籍	2	2	1	1
日 本 標 準	2	2	2	1
日 本 文 教	2	2	2	2
日 本 文 教 B	2	2	2	2
文 溪 堂	2	2	2	2
光 村 図 書	2	2	2	2
計	21	20	19	17

いずれの出版社も1・2年においては1冊の副読本に「礼儀」の資料を2種類（教育出版の1年では3種類）掲載している。また、中学年になるにつれて掲載資料数が少なくなり、4学年になると1資料のみの掲載となる副読本が出現する。つまり「礼儀」の学びは学年が進むにつれて、1・2年のときほど副読本では求められなくなる傾向がうかがえる。また、出版社によって礼儀を積極的に扱うか否かの差が見られた。たとえば1年から4年までの6年間の合計では、日本文教では8資料であるのに対し、東京書籍は6資料であった。

表2 「2-(1)礼儀」の占める割合

	総資料数	礼儀資料数	割 合
1 年	340	21	6.3%
2 年	340	20	5.8%
3 年	350	19	5.6%
4 年	350	17	5.0%

総資料数に占める礼儀資料の割合を確認したところ、1年では学年資料数の6.3%を占めているが、学年の進行につれ割合は減少し、4年では5.0%と減小することが表2から確認できる。ちなみに「礼儀」「自立」など学

習指導要領に示される道徳の学習内容項目数は、1年16、2年16、3年18、4年18で、1項目あたりの占める割合は、1年6.3%、2年6.3%、3年5.6%、4年5.6%となる。「礼儀」は1年6.3%、2年5.8%、3年5.6%、4年5.0%をそれぞれの学年の総資料数の中に占めており、1項目あたりの理論値と比較した場合には低学年から中学年になるにつれ掲載率が低くなる。つまり「礼儀」は学年が上がるほど掲載率が下がる傾向にある。

#### 3-2 副読本（年間指導計画）における「礼儀」資料の配置

すべての道徳の副読本においては、年間35種類（1年は34種類）の資料が巻頭から番号を振られて配置されていた。各出版社が例示する年間指導計画においては4月の第1回授業が1番の資料とされ、3月の最終回の授業を35番（1年は34番）として順に授業が進められるように構成されている。これらの配置における「礼儀」の計画用上の実施月を集計したのが表3および表4である。同一の副読本に礼儀の資料が複数あるものは、巻頭により近く配置されるものを1本目として表3に、それ以降のものを表4に集計した。

表3 礼儀教材〔1本目〕配置月

	1年	2年	3年	4年
4月	7	4	4	3
5月	3	1	3	2
6月		4		
7月			1	1
8月				
9月				1
10月		1	2	1
11月				1
12月				
1月				
2月				
3月				1

表3において特徴的な点は、1本目の資料配置が年度初めに集中する現象である。1年ではすべての資料が4月もしくは5月に配置されており、2年では1つを除いて4～6月に配置される。その他の学年でもおよそ半数もしくはそれ以上の出版社がこの時期に配置されている。

表4で注目されるのは、2本目として6月に3つの資料が配置されていることである。これは4・5・6月の間に礼儀の授業を二度以上実施する構成であることを意味する。しかもそのうち2つは教育出版の資料であった。つまり教育出版の副読本においては、3ヶ月の間に3度にもわたり「礼儀」を扱うことを意図している。

これら2本目以降も6月に「礼儀」の資料を配置した1年資料を挙げると、教育出版「ともだちのいえで」、同「ありがとう」、文溪堂「いなりやまのこんたろう」

表 4 礼儀教材〔2本目〕配置月

	1年	2年	3年	4年
4月				
5月				
6月	3			
7月			1	1
8月				
9月	1		1	
10月		3		
11月	1	2	2	2
12月	2	2	3	
1月	2	2	1	1
2月	1	1	1	3
3月	1			

となる。すべて「あいさつ」「言葉づかい」が題材であるが、これは平成 20 年に改訂・告示された小学校学習指導要領第 3 章道徳第 2 内容 2「主として他の人とのかかわりに関すること」(1)に〔第 1 学年及び第 2 学年〕気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。と「あいさつ」、「言葉」が「礼儀」の内容として明確に位置づけられているためである。

1・2 年ではこのようにあいさつと言葉を「礼儀」の内容として学ぶが、中学年では〔第 3 学年及び第 4 学年〕礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。と示されている。

つまり 3・4 年では礼儀の大切さと真心をもって接することについての学びを修めることになる。ところが実際には 3 年以上の学年で、4・5 月に配置されている 12 種の「礼儀」資料の内容を確認すると、文溪堂 3 年「言葉のまほう」を除いた 11 の資料が、なんらかの形で「あいさつ」を扱うものであった。以上から、「礼儀」は低学年では学習指導要領のねらいどおりそのすべてが「あいさつ」「言葉」であるが、中学年になってもなお、4・5 月に配置される「礼儀」の内容のほとんどが「あいさつ」に関するものを扱っていることが確認された。

### 3-3 総資料数にみる「あいさつ」

では小学校道徳副読本の総資料数における「あいさつ」の占める割合はどのような状況にあるのか。ここでは、6 種類の分類項目（あいさつ、言葉、動作、大切さ、真心、時と場、形と尊重）を手掛りとして、表 5 ではそれぞれの礼儀内容に関して取り扱っていると考えられる資料の数を示し、表 6 においては、各学年ごとの「礼儀」の資料においてそれぞれの内容を取り扱っているその割合について示した。

なお 表 6 においては 2 年生の「あいさつ」において 100%となっていない。これは、日本標準「かさ」が「真心のこもった言葉」を主題としており、「あいさつ」

を扱っていないためである。

学習指導要領における礼儀内容項目の該当学年については、1・2 年に関する内容があいさつ・言葉・動作、3・4 年が、大切さ・真心、5・6 年が時と場・形と尊重となっている。そのため、表 6 においては左上から右下方向にかけて数値が大きくなることが予想されたが、結果的には必ずしもそうになっていない。特に左下の 4 年における「あいさつ」「言葉」の数値が高いものとなっている。これは中学年においてもなお、「あいさつ」とそれに付随する「言葉」が資料において扱われる傾向が強いことを示している。

表 5 道徳教材「礼儀」内容採用資料数

学年	資料数	あいさつ	言葉	動作	大切さ	真心	時と場	形と尊重
1年	21	21	21	14	5	・	・	・
2年	20	19	20	6	2	2	4	・
3年	19	11	9	10	16	15	・	・
4年	17	15	14	6	12	16	2	2
計	77	66	23	36	35	33	6	2

表 6 各学年資料数に対する礼儀内容の採用率 (%)

学年	あいさつ	言葉	動作	大切さ	真心	時と場	形と尊重
1年	100	100	67	36	0	0	0
2年	95	100	20	10	10	20	0
3年	58	47	53	84	79	0	0
4年	88	82	35	71	94	12	12

### 3-4 「動作」の内容

小学校学習指導要領解説道徳編では、1・2 年の礼儀について「この段階においては、特にきはきとした気持ちのよいあいさつや言葉遣い、動作などの具体的な指導を通して明るく接することのできる児童を育てることが大切である」としている。3・4 年では「この段階においては、児童は相手の気持ちを自分におきかえて自らの行動を考えることができるようになってくる」というように、発達段階に応じた礼儀に関する言語的・非言語的な表出の重要性についての指摘がなされている。では「言葉」と対に用いられる非言語的な「動作」、あるいは「しぐさ」、またその様式である「作法」について、副読本にはどのような資料が用意されているのだろうか。ここから本稿ではこれらの概念を「動作」という語に集約して分析を進める。

表 5 によると、77 の資料のうち、文章や挿絵によって礼儀に関する動作が示されるものは 36 ある。しかし総資料の約半数が礼儀の動作について述べている、と単



純に解釈するのは望ましくない。なぜならば、そのうちの6割以上を占める22資料が、あいさつの動作に関するものだからである。手を前でそろえる。深く前傾する、帽子をとってお辞儀する、などの説明文や挿絵がそれにあたる。すると、それを除いた14資料(資料全体の5分の1)に、他の種類の「礼儀」における学びの手掛りとなる動作が述べられていることになる。

表7 道徳副読本「礼儀」における動作の内容

学年	資料数	動作	挨拶関係	挨拶以外	挨拶を除いた「礼儀」の動作内訳
1年	21	14	14	0	
2年	20	6	4	2	ノック 靴を揃える 食べ残さない
3年	19	10	3	7	手紙心得 2 アイコンタクト 傘返却時心得 洋食作法 話し方 ドアの扱い
4年	17	6	1	5	席を譲る 物の渡し方 見舞心得 座礼・物の扱い 行き会いの礼
計	77	36	22	14	

表7に示される内容を分類すると、14資料のうち訪問・見舞い、などの【訪問の心得】、食べ残さない、洋食作法などの【食事の心得】、渡し方、扱い方などの【物の扱い】、そして、【手紙の心得】がそれぞれ2資料、その他1資料として傘の返却、靴を揃える、ノック、アイコンタクト、などの【非言語的表現の心得】、そして話し方などの【言語的表現の心得】が見られた。

なお学研3年「エチケットしんだん」ではあいさつ、言葉遣い、態度、清潔、整理整頓など12項目がチェックリストになっているが、ここでは清潔、整理整頓は基本的な生活習慣の範疇と考え、礼儀における動作として加算はしていない。

#### 4. 考察

礼儀の学びに関しては、「あいさつ」の他に少しの「動作」に触れることだけで、礼儀全般への般化を期待することは現実的ではない。児童は「あいさつ」の動作に関する知識を学んだ場合には、あいさつという場面における礼儀の認識が深まるのである。あいさつの心得を学べば階段昇降の作法を身につけられる、というわけではない。よって、「あいさつ」や「訪問」「食事」の一部の動作に偏ることなく、さまざまな礼儀の内容とそれに伴う動作が登場する資料が望まれる。

いうまでもなく道徳の時間はあくまでも道徳教育の「要」である。たとえば特別活動での実践を通じて礼儀の学びを深めるのだ、ととらえるのは妥当であるが、その要となるべき道徳の時間において、「礼儀」の範囲がきわめて狭いものと誤認させるような資料構成となれ

ばこれは不適切であろう。また教員自身が礼儀といえば「あいさつ」ばかりに拘泥し、他の「礼儀」の事例にあまり触れないままの指導がなされるような状況は、社会から求められる人材の養成という視点から好ましくないと考えられる。教育へのニーズに応え、児童における学びの質を高めるためには、市民の考え求める「礼儀」の内容を知る必要があるだろう。また、その前提となる「礼儀」の内容を、教員自身が知っていることがその前提として必要となる。それはたとえば日常生活において重要とされる礼儀の代表的な場面を抽出し、そこで求められる言語的・非言語的な表出を紹介し、また考えさせ、定着させるような資料が望ましい。あわせて児童の経験などを考慮すると、資料への親和性を高めるために、日常的で身近な内容が望まれる。また、できるだけ幅広い動作の事例に接するためにも、副読本1冊あたりの「礼儀」の資料数の増加が望まれる。

#### 5. 結論

小学校における礼儀の教育が人々から強く求められているにもかかわらず、低学年から中学年に進むにつれてその扱いは少なくなっていく。また動作についても資料中の6割以上が「あいさつ」に関係している。これらの分析結果から、副読本作成関係者をはじめとする日本人々の、「礼儀＝あいさつ」という固定観念の存在が推察される。また、それとあわせて動作の事例数の極端な少なさからは、「日常生活における礼儀の場面・動作に対する認識の低さ」が伺え、実際の日常生活においてどのように「礼儀」を言語的・非言語的に表出するのが望まれているのか、という「具体性」が著しく不足している。

学校教育における礼儀の教えの要を担い、人々の礼儀教育へのニーズに応えるには、道徳副読本における礼儀資料の質の向上が不可欠である。それは「礼儀＝あいさつ」という固定観念の払拭と、日常生活での具体的な礼儀への視点、多様かつ適切な内容の選定によって可能となると考える。今後は小学校高学年から中学校における「礼儀」資料の検討と、これらの結果を踏まえた道徳「礼儀」資料の内容の適正化に向けた研究をすすめたい。

#### 参考文献

- 小学校学習指導要領解説 道徳編 2008 文部科学省  
 柴崎直人(2011)「小学校低学年向け道徳副読本における「礼儀」の内容について」中部学院大学・中部学院短期大学部紀要第12号  
 柴崎直人(2002)「マナー・礼儀作法の教育における1年間カリキュラムの構築」  
 日本道徳教育学会 道徳と教育 No.312・313

付表：小学校1 - 4年 道徳副読本 「礼儀」 資料内容一覧

※掲載箇所は資料番号・配置月・掲載ページを示す

		1 年		2 年		
	表題	概要・指導上の留意点	掲載箇所	表題	概要・指導上の留意点	掲載箇所
学研1	あかるいあいさつ	あかるいあいさつ。 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。 構成的グループエンカウンターを取り入れ、本資料は、家庭や学校の楽しい場面絵で「おはようございます」のあいさつ言葉をとりあげている。他にはどんなあいさつ言葉があるか問いかけている。そして、「あいさつリレー」のゲームで実際にあいさつを実践し、価値の大切さを実感できるようになっている。 【主な発問例】 ○お話の場面絵を見て、どんなことに気づいたか。 ○先生が演じた「よいあいさつ」と「悪いあいさつ」を見て、どう思ったか。 ●気持ちのよいあいさつをしたり、されたりした時はどう感じたか。 ○ゲームでしたあいさつの他にどんなあいさつがあるか、言ってみよう。	2 (5月) 6 7頁	まほうのあいさつ	きもちのよいあいさつ。言葉遣い、動作などに心掛けて、だれにでも明るく接しようとする気持ちを育てる 本資料は、牛乳屋さんからのお礼の手紙から始まる、児童にわかりやすい話である。校長先生からの宿題の答えを見つけれなかった主人公が、横断歩道で待ってくれた運転手さんの優しい顔に感謝の気持ちを込めてお辞儀をした。その時、運転手さんが返してくれた笑顔から、校長先生の宿題の答えを見つけたという話である。 校長先生の出した宿題への答えを見つける作業を通して、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などについて考えさせる	3 (5月) 8 9頁
学研2	かめさんありがとう	こころをつなぐあいさつ 気持ちのよいあいさつや言葉づかいに心がけようとする心情を育てる。童話 親切にしたかめの立場から、どのようにされると気持ちよいかを考える資料。親切にし、何も言われないよりは、お礼を言われた方が気持ちよいことから礼儀やあいさつの大切さを考え、実践につなげる。 【主な発問例】 ○だまって行ってしまったたぬきを見て、かめはどう思ったか。 ●りすはかめに何と言ったか。りすとかめになって考えてみよう。 ○あいさつをして、返事をしてもらったときの気持ちを思い出してみよう。	29 (1月) 82 83頁	ぼっかぼか	こころをつなぐありがとう。 主人公ともくんは、見知らぬおばあさんのハンカチを拾い、お礼を言われたことで、ありがたうの言葉の気持ちよさに気づいて、自分も使えるようになる。 おばあさんにお礼を言われたときの嬉しさや、けんかをしていたおとくんにお礼をいったことで仲直りができたことの嬉しさに共感させることで、ありがたうという言葉のよさや大切さに気づかせる	27 (12月) 82 84頁
学校図書1	あいさつ	【絵のみ】家庭および学校生活の8つの場面の絵を見て適切なあいさつを考える あいさつの気持ちよさに気付かせ、明るく人に接しようとする態度を育てる。 ○家で、朝起きたとき家の人にあいさつしていますか。 ○登校した時、どんなあいさつをしていますか。 ○学校では、どうですか。いろいろな時に、どんなあいさつをしているのかお話ししてみましょう。	2 (4月) 6 7頁	まいちゃんえがいの	回覧板を回す少女と保護者不在の家の子どもたちの「いないよ」「ありがとう」などのやりとり。 明るいあいさつをしようとする気持ちを育てる。 ○「こんにちは。」とあいさつしたのに「いえの人はいないよ。」と奥へ入ってしまった男の子を、わたしはどんなことを考えながら見ていたでしょう。 ○「はーい！」とはずむような女の子の声を聞いた時、わたしはどんな気持ちになったでしょう。 ◎まいちゃん笑顔を見て、心がいつべんにすっきりとしたわたしは、どんな思いでいたでしょう。	19 (10月) 64 65頁
学校図書2	おおきなこえでいえるあいさつ	母親とあいさつの練習をする様子。おはよう返事がないとさみしい、などのやりとり。 相手に通じるようなあいさつをしようとする気持ちを育てる ○大きな声で「おはよう。」と言えるようにお母さんと練習しているわたしは、どんなことを考えながらやっているのしょう。 ○声がかない時、返事がないとさみしいと思う自分を振り返っているわたしをどう思いますか。 ◎なんとかがて元気よくあいさつできるようになりたいと思っているわたしをどう思いますか。	25 (12月) 82 83頁	こんなどいき？	【ワークシート】生活場面にふさわしいあいさつの言葉を考える。レベル1が生活。レベル2がぶつかったとき あいさつ時の大切さに気づき、気持ちのよいあいさつをしようとする態度を養う。 けんちゃんとはぶつかったとき、えりちゃんは、どんな気持ちだったでしょう。 ○お店の前でぶつかったおばあさんから、すぐに「ごめんなさい。」を言われたエリちゃんは、どうしたでしょう。 ◎水飲み場で、えりちゃんはまた、けんちゃんとはぶつかった。吹き出しに入る言葉を考えてみましょう。	24 (11月) 78 79頁
教育出版1	なんといいいますか	【絵のみ】まちがってワニの尻尾を踏んでしまったイラスト。 ○自分の思いを言葉にする大切さに目を向け、人と人とを結ぶ言葉や形式ではなく、心のこもった言葉を発していこうとする意欲を高める。 1 教師のバントマイムを言葉で表現する。 2 絵を見て話し合う。(p.6の絵で話し合い、期待値を高めp.7の絵へ) ○絵を見て、お話を作ってみよう。(6ページ) ○女の子はどのような気持ちだったのでしょうか。(6ページ) ○女の子とワニは、どのような会話をかわしたのでしょうか。(7ページ) 3 なごやかな空気がなった源を考える ◎みんなにこにこ顔ですが、それは、どうしてですか。 4 もし、女の子が何も言わなかったら、どうなるか考える。	3 (5月) 6 7頁	あいさつ	四つの場面と、それにふさわしいあいさつの言葉が示されている。 ○明るく、気持ちのよいあいさつをしようとする態度を育てる。 1 今朝、誰とどんなあいさつをしたか発表し合う。 2 資料「あいさつ」を見て、話し合う。 ○4枚の絵を見て、どんなことに気づきましたか。 ○あいさつの言葉のあとに、お話を続けてみましょう。 ◎あいさつは、どうしてするのでしょうか。 3 朝のあいさつのほかに、どんなあいさつや言葉かけがあるか、話し合う。 4 それぞれの考えた終わりのあいさつで、授業を終わる。	1 (4月) 2 3頁
教育出版2	ありがとう	世界地図の上で10カ国の言葉でありがとうを言っている少年少女のイラスト ○言葉・動作は、国によって違いはあっても、心は同じであることを知り、礼儀の心を大切に生きていこうとする心情を養う。 1 日本以外の知っている国々を発表する。 2 絵を見て話し合う。 ○動作も交えて、「ありがとう」の言葉を言いましょう。 ○言葉が通じない相手に「ありがとう」を伝えることはできないでしょうか。 ◎言葉が違ってても、共通するものは何でしょう。	10 (6月) 18 19頁	しらない人にも	学校で見知らぬ保護者とすれ違うときにあいさつしたら全校集会でほめられた話 ○相手の立場に立って言葉を使おうとする心情を高める。 1 知らない人とあいさつをした経験話し合う。 2 資料「知らない人にも」を読んで話し合う。 ○お兄ちゃんはどうしてあいさつをしたのでしょうか。 ○知らない人にあいさつをするのは、おかしなことなのでしょうか ◎校長先生のお話を聞きながら、ぼくは、お兄ちゃんのことをどのように思ったのでしょうか。 3 最後にぼくは、何を思ったのか、ワークシートにまとめる。	25 (11月) 58 60頁
光文書院1	あいさつであいせに	〈あいさつは こころの リボン〉 たぬきのボンタがあはようからおやすみまでの8つの場面挨拶をしている異時同図一枚絵。 1 みんながしあわせになれるあいさつについて考える。 2 村の動物たちがどんなあいさつをしているか、吹き出しに入る言葉を考えながら、資料「あいさつ しあわせに」を読む。 3 ボンタ君や村のみんなはどんなあいさつをしているか、吹き出しに入る言葉を考える。 4 あいさつをして、ボンタ君や村のみんなはどんな気持ちになったかを話し合う。 5 しあわせになる言葉を集める。	5 (5月) 6 7頁	おもいきっていつてごらん	〈あいさつパワー〉 5つの場面にふさわしい挨拶を考える ◎気持ちのよいあいさつができるように心がけて、明るく接する。 *元気にあいさつをすると、自分も相手も元気がわき、お互いに明るく、いい気持ちになることがわかる。 *あいさつは、時・場・相手によって異なり、その使い分けがあることがわかる。 *自分も元気にあいさつをして、明るく生活しようとする。1 今日、起きてから何人ぐらいの人にあいさつしたが、あいさつされたかを思い出し、そのときの気持ちを発表する。 2 資料「おもいきって いてごらん」を読んで、話し合う。 3 「あいさつパワー」で元気にあいさつするとどのようないいことがあるか、自分の気持ちやまわりがどんなふうになるかを話し合う。 4 「あいさつパワー」であいさつをすると、いい気持ちになることを思い出して発表する。	3 (4月) 2 3頁
光文書院2	だいな わすれもの	〈きもちの よい あいさつ〉 遊びに来た友人が綺麗におやつをたべて、遊び道具の後片付けをしてさようならと帰宅。すぐにわざわざ戻りおやつのご馳走さまをいった話。 ◎心のこもったあいさつをして、お互いに気持ちよく生活しようとする。 *あいさつは、自分の気持ちを伝えるものであることがわかる。 *あいさつをすると、お互いの心が通じ合い、お互いにいい気持ちになることがわかる。 *あいさつの大切さがわかり、進んであいさつをしようとする。 1 ぶだんの生活の中で、どのようなあいさつをしているかを出し合う。 2 資料「だいな わすれもの」を読み、お母さんが「ひろみちゃんて、いいこね」と言ったわけについて話し合う。 3 礼儀正しくすることで、どのような気持ちを伝え合っているかを話し合う。 4 もう一度、自分の生活を見直し、もっと礼儀正しくしたいところを考える。	25 (12月) 54 55頁	あいさつってなあに	〈あいさつってなあに〉 4つの挨拶場面で、他人から掛けられた言葉と言われて浮かんだ気持ちについて ◎気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などに心がけて、明るく接する。 *明るくあいさつすると、その気持ちが相手に伝わり、自分も相手も明るい気持ちになれることがわかる。 *あいさつや言葉づかいは、時・場所・相手によって異なり、使い分けが必要になることに気づく。 *自分から進んで元気にあいさつしようとする。1 なぜあいさつをするのか、どのようなよさがあるのかを考える。 2 あいさつのよさを考えながら、資料「あいさつってなあに」を読む。 3 あいさつには、どのような力があるのかについて話し合う。 4 自分のまわりの「あいさつパワー」を思い出して発表する。	28 (1月) 44 45頁

東京書籍1	あいさつ	<p>【絵のみ】家庭、通学路、学校生活など8つの場面の絵を見て適切なあいさつを白抜き色のフキダシに入れる</p> <p>○日常生活におけるあいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつを心がけようとする態度を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつをしたときの体験について話し合う。</li> <li>2 「あいさつ」の絵を見て話し合う。 ○どんな場面ですか。絵の中からどんなあいさつが聞こえてきますか。 ◎あいさつをするときに大切なことはなんでしょうか。</li> <li>3 あいさつの場面を設定して、実際に動作化する。</li> </ol>	2 (4月) 8 9 頁	い そ い で い て も	<p>落ちていたカギを職員室に届ける際のノック・言葉・話し方・あいさつを先生がほめる話。</p> <p>○気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作に心がけて、人と明るく接しようとする態度を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 資料名の後に続く言葉を考える。</li> <li>2 「いそいで いても」を読んで話し合う。 ○はっとしたたくやは、どんなことを思ったでしょう。 ◎あきらと顔を見合わせて、にこにこしながらたくやは、どんなことを思ったでしょう。</li> <li>3 日常生活の中で、気持ちのよいあいさつや言葉づかいを心がけたことで、よかった経験について話し合う。</li> </ol>	3 (4月) 12 13 頁
東京書籍2	こころをこめて	<p>森の小学校のお別れ会で退職する保健室の先生に別れの言葉と花束、そして拍手を贈る話</p> <p>○気持ちのよいあいさつや言葉づかい、動作の大切さを理解し、礼儀正しく相手に接しようとする態度を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 礼儀正しくする場面について発表し合う。</li> <li>2 「こころをこめて」を読んで話し合う。 ◎マイヤー先生は、みんなの拍手を聞いて、どんな気持ちだったでしょう。</li> <li>3 心のこもった拍手を行い、しっかりとできたときの気持ちを確かめ合う。 ○心のこもった拍手がしっかりとできたとき、どんな気持ちだったでしょう。ワークシートに書いて発表し合ひましよう。</li> </ol>	33 (3月) 98 99 頁	「あ い さ つ」 い っ て	<p>いろいろなあいさつの体験談。恥ずかしいけど晴れ晴れする。</p> <p>○だれに対しても進んで、気持ちよくあいさつしようとする態度を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつがしっかりできなかった体験を思い起こし、発表する。</li> <li>2 「『あいさつ』って いいな」を読んで話し合う。 ○かずみと仲直りができたあき子は、どんな気持ちになりましたか。 ◎お母さんに「あいさつは小さなしんせつよ」と言われたあき子は、どんな気持ちになりましたか。</li> <li>3 あいさつができてよかったことやうれしくなった経験を発表する。</li> </ol>	17 (10月) 53 55 頁
日本標準1	おはよう	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) あいさつをした経験について話し合う。</li> <li>(2) 「おはよう」の絵を見て話し合う。 ・家の前・朝の町・学校の校門や教室では、どんなあいさつをしているか。 ・散歩をしているおじさんに「おはようございます。」と言っている。 ・集団登校している子どもたちが、男の人に「おはようございます。」 ・車いすのおじさんと小さい子が「おはよう。」と言いつつ合っている。 ○「おはよう」とあいさつしたり、されたりすると、どんな気持ちができるでしょう。</li> <li>(3) あいさつの練習をする。 気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などに心がけて明るく接する態度を育てる。</li> </ol>	1 (4月) 3 5 頁	あ い さ つ	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 電話を受けた経験を話し合う。</li> <li>(2) 留守番をしているときの電話の受け方について、役割演技をしながら考える。</li> <li>(3) 友だちの家に遊びに行ったときのあいさつや行動のしかたを、役割演技をしながら考える。 ○あいさつをするとき、どんなことが大事でしょう。 正しい言葉や、きちんとした態度で、明るく人に接する態度を育てる。</li> </ol>	8 (6月) 27 29 頁
日本標準2	こころをこめてありがとう	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) どんなとき「ありがとう」と言うか発表する。</li> <li>(2) 誰かに「ありがとう」と言われたことがあるか、そのときどんな気持ちだったか話し合う。</li> <li>(3) 「ありがとう」と言ったときと言われたときの気持ちを発表する。 ○どんな気持ちでしたか。 相手の目を見て、心を込めて「ありがとう」と言える態度を育てる。</li> </ol>	21 (11月) 60 61 頁	か さ	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 過ちをした友だちに、謝ってもらえなかった経験を発表し合う。</li> <li>(2) 「かさ」を読んで話し合う。 (1) なおき君がぼくのかさをたいて、「おい、赤だぞ、あぶないぞ」と注意してくれたとき、ぼくはどう思ったか。 ・危ない目にあわなくてよかった。 (2) かさのほねが折れてしまったとき、なおき君の気持ちはどんなだったか。 (3) どんな気持ちで、なおき君は謝ったのか。 (4) お母さんに、この間のことを話したとき、ほめられたのはなぜか。 ・おこらなくて許してやれたから。 ・正直に話したから。 (5) ぼくのがはわればれとしてきたのは、なぜか。 ・心がすっきりした。 ・お母さんにほめられたし、なおき君に、本当に許す気持ちで「いいんだよ。」と言えたから。</li> <li>(3) 友だちが謝ってくれた経験を出し合い、話し合う。 気持ちのよい、真心のこもった応対を心がけようとする態度を育てる。</li> </ol>	30 (1月) 53 55 頁
日本文教1	おはようございます	<p>【絵のみ】朝の食卓、通学路の横断歩道、学校校門、教室、廊下など5つの場面の絵。</p> <p>いろいろな「おはようございます」の場面について話し合うことで、明るいあいさつをする自分もまわりの人たちも笑顔になることに気付き、進んであいさつをしようとする態度を育てる。</p> <p>○(朝の食卓) どんな場面でしょう。どんなお話を聞こえてきますか。 ○(登校中) どんな場面でしょう。どんなあいさつが聞こえてきますか。 ◎(学校で)「おはようございます。」と言ったり言われたりしたとき、どんな気持ちでしょう。 ○ほかに、どんなあいさつがありますか。</p>	1 (4月) 2 3 頁	い い に く か っ た こ と ば	<p>早口ことばのつもりで母親に「言いにくい言葉」を尋ねたら、「ありがとう・ごめんなさい」と言われてびっくりしたが、翌日帽子を拾ってもらってようやく気づく話。</p> <p>気持ちのよいあいさつや言葉遣いをすると、自他共によい気持ちになり、他人との心の交流が生まれ、よい人間関係を築くことができ、楽しい生活を送ることができると気付く。気持ちのよいあいさつや動作などを正しくしようとする態度を養う。</p> <p>○さとの君は、お母さんにどんな言葉を教えてもらってうれしかったか。 ○お母さんに「『ありがとう』に『ごめんなさい』かな。」と言われて、さとの君はどう思ったでしょうか。 ○おねえさんに帽子を拾ってもらったとき、どうしてさとの君は「うん。」と答えて、たっぴと走り出したのでしょうか。 ◎学校の門を入ったとき、さとの君はどんなことに気付いたのでしょうか。</p>	7 (6月) 20 23 頁
日本文教2	やまのがっこうのあそび	<p>山の学校の校門の朝。あいさつする子、しない子、そっと入ろうとする子など。</p> <p>社会生活において、相手を理解することは大切なことであり、その人間関係を深める手がかりは、お互いに交わすあいさつであることを知り、だれに対しても進んで気持ちよくあいさつをしようとする態度を養う。</p> <p>○朝、くろやぎ先生は何をしますか。 ○子どもたちは、どんなあいさつをしていますか。 ○おさるのもんべい君は、どうしましたか。 ○くろやぎ先生は、どんなことを言いましたか。 ○くろやぎ先生は、もんべい君のことをどう思ったのでしょうか。 ○くまのプー君は、なぜ黙って行こうとしたのでしょうか。 ○くろやぎ先生にあいさつされて、プー君はどうしましたか。</p>	29 (2月) 88 89 頁	あ い さ つ が き ら い な 王 様	<p>あいさつがうるさくて禁止令を出した王様が、ついあいさつをして気持ちよくなり禁止令を解く話。</p> <p>王様があいさつの大切さに気付いていく過程を通して、あいさつはまわりの人の心を明るくすることを知り、気持ちのよいあいさつをしようとする態度を養う。</p> <p>○王様は、なぜあいさつをしてはいけないと決めたのでしょうか。 ○あいさつが禁止されてから、国や王様の様子はどうなっていましたか。 ○「なにかおかし。」と言った王様は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>◎あいさつをした王様は、どんなことに気付いたのでしょうか。 ○王様がおふれを取りやめてから、国の様子はどうなっていましたか。</p>	26 (12月) 80 83 頁
日本文教1(旧大阪書籍)	あいさつ	<p>【絵のみ】家庭および学校生活の5つの場面の絵を見て適切なあいさつを考える</p> <p>いろいろな場面での挨拶があることを知り、挨拶はする人もされる人も気持ちがいいことに気づき、進んで気持ちのよい挨拶をする態度を育てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今日した挨拶を思い出す。 朝起きてから学校に来るまで、どんな挨拶をしましたか。</li> <li>(2) 資料「あいさつ」の絵を見て話し合う。 ○(学校での朝の絵を見て、)何をしているところかな。 ○(授業中の絵を見て、)このときは、どんなことを言っているのかな。 ○(家での絵を見て、)お父さんやお母さんには、どんな挨拶をするのかな。 ○どんな挨拶をするといいたのかな。</li> <li>(3) 他の場面での挨拶について話し合う。 ○もっと他に、挨拶の言葉を知っていますか。</li> </ol>	2 (4月) 4 5 頁	お は よ う っ て い い な	<p>見聞きイラストにおはよう〇〇さん！の繰り返し。おはようっていいな。</p> <p>挨拶は互いの心をすがすがしいものにし、心と心を結びつけるものであることに気づき、進んで挨拶をしようとする態度を育てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 朝の挨拶「おはよう。」について話し合う。 ○今日「おはよう。」の挨拶をしましたか。挨拶をしたとき、どんな気持ちでしたか。</li> <li>(2) 資料「おはようっていいな」を読んで話し合う。 ○たかしさんとゆうこさんは、どんな気持ちで「おはよう。」と挨拶をしているのでしょうか。 ○めぐみさんととはとさんは、どんな気持ちで「おはよう。」と挨拶をしているのでしょうか。 ○「おはようっていいな」と思うのは、なぜでしょう。 (3) 気持ちのよい挨拶について考える。 ○気持ちのよい挨拶には、どんな力があると思いますか。 ○2人組になって、元気よく「おはよう。」の挨拶をしてみましょう。どんな気持ちで挨拶をしましたか。また、挨拶をされて、どんな気持ちになりましたか。</li> <li>(4) 資料「おはようっていいな」をみんなで読む。</li> </ol>	9 (6月) 28 29 頁



小学校中学年向け道徳副読本における「礼儀」の内容について

日本文教2 (旧大阪書籍)	「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」	【絵とフキダシ】学校の4つの場面の絵を見てフキダシに適切な言葉を入れる 気持ちのよい言葉遣いや動作について気づき、明るく接しようとする態度を養う。 (1) 日頃、自分たちが使っている挨拶などの言葉について交流する。 ○みなさんは、どのような挨拶をどんなときに使っていますか。 ○言われたとき、どんな気持ちでしたか。 (2) 資料「ありがとう」「ごめんなさい」を見て話し合う。 ○男の子や女の子が何を言っているのか考えましょう。 ○この2人はどんな言葉を交わしているでしょう。 ○みなさんも同じようなことはなかったかな。 (3) 自分の生活を振り返って、挨拶や言葉遣いについて話し合う。 ○今まで、言われて「気持ちがいいな」と感じた挨拶や言葉はありますか。	15 (9月) 34 35頁	たけしのでんわ	電話を受けたたけしの立派な受け答えが相手からほめられた話。またTVの音量を小さくするなど心遣いも。主人公の電話の対応の姿を通して、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接する態度を養う。 (1) 電話について考える。 ○電話に出たことがありますか。 ○電話をかけたことは、ありますか。 (2) 資料「たけしのでんわ」を読んで考える。 ○たけしさんは、なぜテレビの音を小さくしたのでしょうか。 ○たけしさんを6年生と思わせるほどの立派な受け答えとは、どのようなものですか。 (3) 電話機を使って対応する。 ○たけしさんの対応を参考に、実演しましょう。 ○電話について、気をつけることは何でしょうか。 (4) 電話の対応の仕方について振り返って考え、感想を書く。	17 (10月) 56 57頁
文溪堂1	どこでも	気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 日頃、あいさつが行われる主な場面を取り上げている。多くの場面を提示することでその場に合ったあいさつを考えやすくしてある。吹き出しを活用し、あいさつをしてみようという意欲を高める。また、それぞれの絵の人物の表情にも注目させることで、あいさつの気持ちよさに共感させる。	2 (4月) 4 5頁	おじいちゃん	ふみおは、隣のおじいさんに元気にあいさつをする。それから何日かして、ふみおは、あいさつしたことをおじいさんが喜んでくれていることを母親から聞き、うれしくなる。 明るくあいさつをすることで、互いによい気持ちになれることに、登場人物を通して共感していただく。気持ちのよいあいさつに心掛けようとする態度を養う。	1 (1月) 2 3頁
文溪堂2	いなりやまの こんたろう	いなり山に住んでいるきつねのこんたろうは、動物たちにあいさつされても恥ずかしくてあいさつができない。大運動会の日、参加しようと会場に出かけたが、だれにも声をかけられずに寂しい思いをする。そんな中、野ねずみがこんたろうに「おはよう。」と声をかけてくれたことにより、こんたろうの気持ちが明るくなった。 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。	9 (6月) 22 23頁	おいしかったよ	近所のおばあちゃんがホットケーキを作り、届けに来てくれる。手が離せない母親の代わりに対応するとおぼは、その礼儀正しい対応の仕方をほめられる。翌日、そのおばあちゃんに会うとおぼは、あいさつはしたものの、ホットケーキのお礼を言うことには気が付かない。母親にお礼を言うことを教えられたとおぼは、翌日、朝のあいさつと一緒にホットケーキのお礼を言う。お礼を言われて「うれしいよ。」とこたえるおばあちゃんを見て、とおぼもうれしい気持ちになる。 場に応じた気持ちのよいあいさつや、言葉遣いをしようとする態度を養う。	21 (10月) 56 57頁
光村図書1	おはよう	【絵のみ】通学路、学校校門など5つの場面の絵(異時同図)。気持ちのよいあいさつを心がけようとする心情を養う。 ①みんな、何と言っているのでしょうか。 ②あいさつをしている人は、どんな顔をしていますか。 ③あなたは、どんなあいさつをしたとき、うれしくなりますか。	2 (4月) 3 3頁	なんかへん	きちんとした言葉で挨拶はするが、時刻もかまわず勝手にゲームを始めたり、出してもらった焼きそばを残したりする友人に、なんかへん、とつぶやくじゅん君。 言葉と行動の乖離の教材 気持ちのよいあいさつや行動を心がけようとする態度を育てる。 ①「なんかへん。」と言ったじゅんくんは、どんな気持ちだったでしょう。それぞれの場面を考えてみましょう。 ②みなさんは、友達の家に行ったとき、どんなことに気がついていますか。	8 (6月) 24 25頁
光村図書2	オアシス	オアシス運動のオアシス。4つのあいさつの言葉はこころのオアシスである。「こころのオアシスとはどんなことだとおもいますか」「あいさつをしてみようと思ったことはありますか」気持ちのよいあいさつをしようとする態度を育てる。 ①「心のオアシス」とは、どんなことだと思いますか。 ②あいさつをして、気持ちよくなったことはありますか。	27 (1月) 80 83頁	あいさつって ふしぎ	おはよう、ありがとう、ごめんね、さようなら、はそれぞれ心が〇〇になる言葉。「〇〇には何が入りますか」「あいさつしてよかったと思ったのはどんなときですか」 あいさつのもつ意味に気づき、すすんであいさつしようとする態度を育てる。 ①資料の中の□には、どんな言葉が入るでしょう。 ②あいさつしてよかったと思ったのは、どんなときですか。	31 (2月) 120 121頁

3年		4年			
表題	概要・指導上の留意点	表題	概要・指導上の留意点		
学研1 失礼おばさん	相手のことを考えたい。互いに気持ちよく過ごすためには、礼儀が必要であることを知り、礼儀正しくしようとする心を育てる。 「失礼よ」という言葉から、だれにとって失礼なのかを児童に考えさせる。自分だけが気持ちよいのではなく、他の人にとっても気持ちのよいことを考え、行動していくことが大切であり、それが心のある礼儀になっていくことを自覚できるようにする。 ①「あいさつ」は、どうして大切なことなのでしょう。 ②おばさんは、どんな気持ちで子どもたちに「失礼というものよ。」と言っているのでしょうか。 ③礼儀正しくされて、気持ちよくなったことを思い出してみよう。 終末：心が形になって表れた例について話す。	11 (7月) 34 37頁	春の里	まごころをもってタクシー乗り場からタクシーに乗り込む人びとが後ろの人に次々とお先にと声をかける話。 礼儀の必要性を否定する人はいない。しかし、ともすると行動に表れる部分のみに目が向きがちになる。だが、礼儀は相手の立場にたつてこそ本来の意味をなすものである。これらの点を繰り返して指導するのは大切なことである。 本資料を展開するポイントは、日常生活での人と人とのさりげない礼儀に着目させる点である。たとえ声をかけなくても通り過ぎていく場面、ささやかな礼儀が人の心を和ませてくれる。その行為の根拠にあるものを問いつける。 ①次々に「お先に」と言われて、人びとはどんな気持ちになったでしょう。 ②自分の番のとき「わたし」はどんな気持ちで「お先に」と言ったでしょう。 ③あいさつしたときの自分の気持ちを思い出してみよう。	1 (4月) 2 3頁
学研2 エチケットしんだん	子どもも守るれいぎ 礼儀作法やマナーというと、「堅苦しい」「面倒」というイメージがつきまとう。しかし、本来の「礼儀」は、他者を快くさせるための配慮である。自他が快適に過ごすために必要なものという観点で、礼儀を考えさせる。本資料は、主人公のまさが図書室で探し出した本からの抜粋という形をとっている。チェックリストになっているので、授業で児童にチェックさせる形式である。自分たちでチェックリストを作ってみるのも、礼儀正しい行為について考えるきっかけとなる。	27 (12月) 92 93頁	電車でのできごと	礼儀の大切さ 礼儀の大切さを頭では分かっていても、つい人に迷惑をかけたり不快な思いを与えてしまったりすることが多々ある。しかし反対に、相手にされると憤慨し、相手を非難し、批判しようとする。このことに結びつけて、礼儀のもつ意義を児童の経験に重ね合わせて考えさせる。 本資料は、誰でも利用する電車の中での出来事を取り扱っているだけに分かりやすく、また身近なこととして受け止められる。話し合いでは、同じように席を譲ったにもかかわらず、対照的な二人の女性の行動の違いを考えさせながら、礼儀のもつ大切さを知り、だれに対しても真心を持って接することの大切さを自覚させる。 ①母と一緒に席を立ったばかりは、どんな気持ちからでしょう。 ②腹立たしくなったのはどうしてでしょう。こんなときは誰でも同じ気持ちになるでしょうか。 ③いいいにお礼を言われたときはどんな思いがするでしょうか。二人の女の行動の違いは、それぞれどんな考えからくるのでしょうか。 ○あいさつや、礼儀で大切なことはどんなことだろうか。 ○教師が普段から心がけているあいさつや礼儀などについて話す。	12 (7月) 42 43頁
学校図書1 運動会のじょうたい	近所の老人に3人が運動会の招待状を書く。それぞれの招待状のよいところは？何かを伝えるときに大切なことは？ 礼儀の大切さを知り、相手に真心をもって、物事をわかりやすく伝えようとする態度を育てる。 ○浩太が「竹山のおじいさんにも、みせてやりたいな」と言ったとき3人はどんな気持ちだったでしょうか。 ○3人それぞれの招待状のよいところはどんなところですか。	3 (4月) 9 11頁	かんとくのことば	座ったまま物を渡す子どもを叱る監督の話。監督にあいさつするが、母親たちにしない子どもを交す。「真心のこもった礼儀について」 礼儀でつながるの心の温かさを知り、だれに対しても真心をこめて接しようとする意欲を育てる。 ○古田先生にスパイクを見せようとして、監督に「座ったまま渡すとは何事だ」と叱られた時、健人はどう思ったでしょう。 ○古田先生も監督も謝っている姿を見て、健人はどんな気持ちだったでしょう。 ○健人はヘルメットを並べて監督の言葉を思い出しながら、どんなことを考えていたでしょう。	4 (5月) 16 18頁

<p>学校図書2</p>	<p>ことばのまほう</p>	<p>ぶつってしまったときの言葉について。真心のこもった対応とは？どんな考えを持つ？ 誰に対しても礼儀正しく、真心で接しようとする気持ちを育てる。 ○男の子がぶつかったとき、ぼくはどう思いましたか。 ○今度は男の子から謝ってきたとき、ぼくはどんな気持ちになりましたか。 ○ぼくはどんなことを考えながら、自転車のペダルをこいでいましたか。</p>	<p>25 (12月) 84 85頁</p>	<p>生きた礼儀</p>	<p>フィンガーボウルの話。「礼儀でいちばんたいせつなことは？」 「生活の中で礼儀はどんなはたらきをしているでしょう」 時と場に応じた礼儀がわかり、相手を思う心にふさわしい形で表現しようとする気持ちを育てる。 ○女王様は、どんな人だと思いますか。 ○女王様は、なぜフィンガーボウルの水を飲んだのでしょうか。 ○礼儀作法を守るとき、一番大切なことは何でしょう。</p>	<p>31 (2月) 117 119頁</p>
<p>教育出版1</p>	<p>心のことば</p>	<p>信号のない横断歩道で、車のひとつが右手と目で合図して通してくれた。「身のまわりの心のことばをさがしてみよう」○礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心を持って接しようとする態度を育てる。 1 相手にゆずられて、うれしかった経験について発表する。 2 資料「心のことば」を読んで話し合う。 ○わたしとおじさん、わたしと道子さんは、心の中でどんなお話をしたのでしょうか。 ○「心のことば」は、相手をどのように思う心なのでしょう。 3 自分のまわりの「心のことば」をさがして、ワークシートに書く。 4 教師の説話を聞く。</p>	<p>2 (4月) 4 5頁</p>	<p>礼儀の心</p>	<p>フィンガーボウルの話。外国の食堂で日本人が音を立てスープを飲み軽蔑される話。「礼儀正しく行動するには、どんな心がけがひつようか、かんがえてみましょう」 ○礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする心情を育てる。 1 礼儀の意味を考え発表し合う。 2 資料「礼儀の心」を読んで、話し合う。 ○女王様は、どんな気持ちでフィンガーボウルの水を飲んだのでしょうか。 ○日本の学生が音をたてて食事をしたことをどう思いますか。 3 礼儀の心について考える。 4 教師の説話を聞く。</p>	<p>22 (11月) 60 62頁</p>
<p>教育出版2</p>	<p>かりたかさ</p>	<p>急な雨で借りて帰ったかさを、3人の友人が「すぐに」「かわかして」「補修して」など三者三様に気を使って返してくれた話。「それぞれどういう気持ちで傘をかえたでしょう」 ○礼儀の大切さを知り、感謝の気持ちを真心で表すように努める態度を育てる。 1 友達に物を貸してあげた経験について話し合う。 2 資料「かりたかさ」を読んで物を借りる時や返す時の礼儀について話し合う。 ○かさを返した三人と、京子さんの気持ちを言葉にしてみましょう。 ○京子さんは、今までどんな返し方をしていたのでしょうか。 ○人に物を貸した時、どのように返されるのがうれしいですか。 3 友達の作文(教師の説話)を聞く。</p>	<p>13 (7月) 32 33頁</p>	<p>お客さんなのに</p>	<p>バスから降りるときにありがとうございますと言う友人。お礼の気持ちを伝えてるんだと諭す父。後日に自分からありがとうございますと言う主人公。「あなたは今までありがとうございますを自然ということができませんでしたか」 ○感謝の気持ちを真心で表すようにつとめる心情を育てる。 1 バスに乗ったときの体験について発表し合う。 2 資料「お客さんなのに」を読んで話し合う。 ○みかちゃんの運転手さんに対する行動をどう思いますか。 ○わたしとみかちゃんが声を揃えてお礼したことで、運転手さんはどう思ったのでしょうか。 3 感謝のことばが伝わることをどう思いましたか。</p>	<p>25 (11月) 69 71頁</p>
<p>光文書院1</p>	<p>電話のおじぎ</p>	<p>〈心をこめて〉 電話口でお辞儀をしながら話すおばあちゃんと、それを見習おうと言うお母さんにびっくりする子どもたち。 ○礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接し、お互いに気持ちよく生活しようとする。 *真心の意味について知る。 *あいさつや会釈は、相手の存在を認めるときに出るものであることを知る。 *形や心がそろうこそ、相手に通じるものであることを知る。 *心を込めて、あいさつをしようとするようになる。 1 電話で話すときはどんなことに気を付けているかを考える。 2 資料「電話のおじぎ」の前半を読んで、晶子さんと洋一君はおばあちゃんの電話をどのような気持ちで見ているか話し合う。 3 資料の後半を読んで、晶子さんがお母さんの話にうなずいたのは、どのような考えなのか話し合う。 4 どのようにすれば、自分の気持ちが相手に伝わるのかについて考える。</p>	<p>3 (4月) 26 27頁</p>	<p>「なごみ」のある温泉浴場</p>	<p>〈「なごみ」を生むもの〉 共同浴場で相互に挨拶をすることで和みが生まれる話 ○礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。 *「あいさつ」によって、互いに相手を認め合う心が通じ合い、「なごみ」が生じることがわかり、そのことに心が動く。 *「心」と「かたち」が合わさって、真の「あいさつ」になることがわかる。 *真心の込められたあいさつを日々実践しようとする意欲をもつことができる。 1 あいさつをしたり、されたりしてうれしかったことを発表する。 2 「なごみ」という言葉を考えながら、資料「『なごみ』のある温泉浴場」を読む。 3 温泉浴場のようすで「いいなあ」と思ったところを発表する。 4 「よく」が「あいさつは、はずかしくてめんどうくさい」と思っていたのに、「心がなごむあいさつ」を続けていきたくて思ったわけについて話し合う。 5 「これが『なごみ』だ」と思った礼儀を発表する。</p>	<p>35 (3月) 130 131頁</p>
<p>光文書院2</p>	<p>生きたれいぎ</p>	<p>〈生きたれいぎ〉 フィンガーボウルの話 ○礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。 *礼儀は、単に目に見える動作のよさだけでなく、相手の人格を尊重する心から発していることが大切であることに気づく。 *そのような心と形(作法や態度)が合わさったとき、人の心を温かくすることがわかる。 *相手に対して心を込めて礼儀をつくそうとする意欲をもつ。1 「礼儀」の一つの具体的な形である「はしの使い方」について話し合う。 2 資料「生きたれいぎ」を読んで、話し合う。 3 「生きたれいぎ」とはどんなことかを考える。 4 自分たちの身近で見たり聞いたりした「生きたれいぎ」を発表する。</p>	<p>27 (12月) 14 17頁</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	
<p>東京書籍1</p>	<p>あいさつをする</p>	<p>近所の人にあいさつされて返せない子が、あいさつすると仲良しになれると聞いて頑張ってみようと思う話。 ○あいさつを中心とした礼儀の大切さに気づき、真心をもって接しようとする態度を養う。 1 あいさつの種類について考える。 2 「あいさつをする」と読み、話し合う。 ○「わたし(が)あいさつをしよう、あいさつをしよう。」と書いてもできないのは、どんな気持ちからだと思いませんか。 ○「あいさつをするとなかよしになれる。」というやす子ちゃんの話聞いたとき、「わたし」はどんな気持ちになったと思いませんか。 3 p.19「さいこうにうれしいおはよう!」を行う。</p>	<p>4 (5月) 16 17頁</p>	<p>「ありがとう」の言葉</p>	<p>家族にはいちいちありがとうと言わない子どもが、ある日落とした帽子を届けてもらい思わず口にしたありがとうの言葉。祖母から有り難しの意味を聞く。「おばあちゃんの話を書いてひろしはどんなことをおもったでしょう」「ふだんのあいさつで、心がほっとする言葉にはどんなものがあるでしょう。また、どうしてそう思うのでしょうか」 ○挨拶の言葉の意味や礼儀でかよい合う心の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする態度を養う。 1 挨拶の言葉にはどのようなものがあり、どんな意味があるかを考える。 2 「ありがとう」の言葉を読んで話し合う。 ○大切な帽子が戻ってきたとき、ひろしはどんな気持ちだったでしょう。 ○おばあちゃんの話を書いてひろしは、どんなことを思ったでしょう。 3 人々の心が込められている挨拶の言葉について考える。 4 礼儀で心がかよい合うことの素晴らしさについて、教師の説話を聞く。</p>	<p>3 (4月) 16 19頁</p>
<p>日本標準1</p>	<p>いやなかんじ!!</p>	<p>(1) 今までに嫌な思いをした経験がないか発表する。 (2) 資料「いやなかんじ!!」を読んで話し合う。 ○りさが教室に入ったとき、どんな気持ちだったか。 ・恥ずかしいな。みんなから何か言われるかな。 ・へんな髪。切らなければよかった。 ○りさを見ながらひそひそ話をしている友だちとりさの役を演じる。 ○ひそひそ話をされたりさは、どんな気持ちだったか。 ・嫌だな。何を言っているのだろう。 ・わたしの髪の毛のことを言っているんだな。 (3) ひそひそ話は相手をどんな気持ちにさせるか考え、話し合う。 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する態度を育てる。</p>	<p>19 (10月) 64 65頁</p>	<p>心をつなぐひとこと</p>	<p>(1) 礼儀につながる言葉にはどんなものがあるか、言われるとどんな気持ちがするか話し合う。 (2) 「心をつなぐひとこと」を読んで話し合う。 ○おばあさんが、お店の人にいつもひとこと声をかけるのはなぜか。 ・声をかけると気持ちがよくなるから。 ・「いつもありがとう」という気持ちでいるから。 ・知り合いが多いのはうれしいことだから。 ○わたし(ゆうちゃん)が、バスの中で男の子に思わず声をかけたのはなぜか。(自分だったら…)・黙っている。 ・困ったとは思うけどどうしていいかわからない。(ゆう)・泣き止ませるために、なんとかしたい。 ・おばあさんのように、声をかけたら泣き止むかもしれない。 →ゆうちゃんは、おばあさんの行動を見ていたので、自然に話しかけられた。 ○男の子に声をかけ、わたし(ゆうちゃん)はどんな気持ちになったか。 ・おばあさんがしていることを思わずまねてよかった。 ・男の子が泣き止んで自分も楽しくなった。 ・男の子のお母さんのお礼を言われて、「声をかけてよかった」と思った。 (3) あいさつや言葉がけがなぜ大切なのか話し合う。 礼儀は人と心をつなぐ大切なものであることを知り、真心をもって接する態度を育てる。</p>	<p>18 (10月) 67 70頁</p>



<p>日本標準2</p>	<p>電話の向こうはどんな顔</p> <p>(1) 家にかかってきた電話を、どのように取り次いでいるか演じてみる。                  (2) 「電話の向こうはどんな顔」を読んで話し合う                  ○お母さんが電話に出るまでの間、岩井さんはどんな気持ちだったか。                  ○電話に出たお母さんと岩井さんは、どんな話をしたか(岩井さんの役になって演じる)。                  ○お母さんの話を聞いて、陽一君はどんなことを考えたか。                  (3) 電話や来客のときに気をつけていること、気をつけたいことを発表する。                  心のもった礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心を込めて接しようとする態度を育てる。</p>	<p>25 (1)月 82 85頁</p>		
<p>日本文教1</p>	<p>電話の向こうはどんな顔</p> <p>電話の取次ぎで、受話器を肩にかけたまま大声を出したり、適当に置いて母を呼びに言っつづのままにか受話器が落ちていたりした話。「おかあさんの話をきいてどんなことを考えたでしょう」買ったばかりの漫画に夢中になり、心ここにあらずといった陽一君の電話の応対を通して、心のもった対応の大切さを知り、だれに対しても真心をこめて接しようとする態度を育てる。                  ○陽一君が電話口に出たとき、岩井さんはどんな気持ちだったでしょう。                  ○陽一君がお母さんを呼びに行っているとき、岩井さんはどんな気持ちだったでしょう。                  ○やっとう電話に出たお母さんと岩井さんは、どんな話をしたでしょう。                  ○お母さんの話を聞いて、陽一君は、どんなことを考えたでしょう。</p>	<p>6 (5)月 20 23頁</p>	<p>フィンガーボール</p> <p>フィンガーボールの話。礼儀というもの、自分がしてもらいたいように、他人にもすることです。「女王の態度を見てまわりの人はどんなことを考えたでしょう」「あなたはどんな礼儀作法が大切だと思いますか」パーティーの席で、フィンガーボールの水を誤って飲んでしまった客と同じことをした女王の行為の意図を話し合うことを通して、相手を大事にする心遣いの大切さがわかり、だれに対しても気持ちよく接していこうとする心情を育てる。                  ○外国のお客がフィンガーボールの水を飲んだのを見たまわりの人は、どう思ったでしょう。                  ○女王様が、その様子を黙って見、知らん顔をしてフィンガーボールの水を飲んだのは、どのような気持ちからでしょうか。                  ○それを見たまわりの人は、どんなことを考え、どんなことに気付いたでしょう。                  ○女王様の考える礼儀とは、どんな礼儀なのでしょう。</p>	<p>12 (7)月 46 47頁</p>
<p>日本文教2</p>	<p>ある日の文く店で</p> <p>ぶっきらぼうに商品を渡し、黙って購入する男性のあとに、会話とあいさつをしてありがとうとお辞儀をして去る主人公。「帰り道「ぼく」があったかい気持ちになったのはどうしてでしょう」買い物のときに礼儀正しくない行動をとるといことは、まわりをいやな気持ちにすること、反対に心を込めて対応することで自分も相手も温かい気持ちになり、自分を大切にすることにつながることに気付く。                  ○男の人が買い物をする様子を見て、「ぼく」はどう思ったでしょう。                  ○「ぼく」が、あまりいい気持ちではなかったのはなぜでしょう。                  ○店員さんが20枚入りの半紙を持ってきてくれたとき、「ぼく」はどのような気持ちで「ありがとうございます。」と言ったでしょう。                  ○店を出るとき、店員さんに「ありがとうございます。」と言った「ぼく」は、どのような気持ちだったでしょうか。                  ○帰り道、「ぼく」があったかい気持ちになったのはどうしてでしょう。</p>	<p>21 (11)月 76 79頁</p>	<p>おじさんがおこつたのは</p> <p>横断歩道のボランティアのおじさんに「おはよう。いつもありがとう。仕事にいかなくても大丈夫なのか」と声をかけたらにらみつけられた。母親に言葉遣いをしかられて翌日言い直したらニコニコ笑った。「おじさんとのあいさつから良夫はどんなことがわかったのでしょう」「気持ちのよい言葉づかいは、相手にどんな思いを伝えるのでしょうか」あいさつや時と場をわきまえた言葉遣いをするので、相手だけでなく自分もすがすがしい気持ちになることに気付く、相手の気持ちを傷つけないように、だれに対しても礼儀正しく、真心を持って接していこうとする態度を養う。                  ○良夫があいさつしたときはにらみつけたようだったのに、ほかの子どもに笑いながら声をかけているおじさんを見たとき、良夫はどんなことを考えたでしょう。                  ○ベッドの上で自分の言葉を思い浮かべてみたとき、おじさんとのあいさつから良夫はどんなことがわかったでしょう。                  ○おじさんがにらみにこにこ笑いながら言ってきたとき、良夫はどのような気持ちだったでしょう。</p>	<p>21 (11)月 80 83頁</p>
<p>日本文教1(旧大阪書籍)</p>	<p>しつれいおばさん</p> <p>遊びにくる子どもたちに失礼よ、と言いつづけるが好かれているおばさんの話。「どんなときにしつれいというのでしょうか」「どんな気持ちでしつれいよというのでしょうか」「子どもたちはどうしてしつれいおばさんが好きなのでしょう」周りの人や物に対していつも真心をもって接し、礼儀正しい行いをしようとする心情を育てる。                  (1) 「しつれい」という言葉について考える。                  (2) 資料「しつれいおばさん」を読んで話し合う。                  ○おばさんは、どんなときに「しつれいというものよ。」と子どもたちに言うのでしょうか。                  ○おばさんは、どんな気持ちで「しつれいよ。」と子どもたちに言い続けているのでしょうか。                  (3) 自分の生活を振り返る。                  (4) 教師の説話を聞く。</p>	<p>4 (5)月 14 17頁</p>	<p>あいさつができた</p> <p>通学路で道路掃除をしているおばあさんからあいさつされて返答できなかった子が悩むが翌日おはようと言って心がうきうきした話。「そのときひろみはどうしてあいさつができなかったのでしょうか」「あいさつができたとき、心がうきうきしたのはなぜでしょう」挨拶ができたひろみの気持ちに共感することを通して、挨拶の気持ちよさを知り、進んで誰にでも挨拶しようとする態度を育てる。                  (1) いつもしている挨拶を振り返る。                  ○挨拶にはどのようなものがあるでしょうか。                  (2) 資料「あいさつができた」を読んで話し合う。                  ○おばあさんに挨拶されたとき、ひろみはどうして挨拶ができなかったのでしょうか。                  ○この日から挨拶ができるまでの3日間、ひろみはどのようなことを考えていたのでしょうか。                  ○挨拶ができたとき、ひろみはどのような気持ちだったのでしょうか。                  (3) 自分の生活に生かす。                  ○お互い気持ちよくなる挨拶とはどのような挨拶でしょうか。                  (4) 今日の学習を振り返る。                  ○自分の生活を振り返り、これまでの挨拶とこれからしたい挨拶などについて書きましよう。</p>	<p>1 (4)月 2 5頁</p>
<p>日本文教2(旧大阪書籍)</p>	<p>れいぎ正しい人</p> <p>正しい言葉遣いや挨拶ができる人が礼儀正しいと思っていたが、ドアを押さえたまま待つ行為もそうだと知り、翌日に本を重そうに持っている子を手伝ってあげる話。「まさおは礼儀正しい人をどんな人だと思っていたのでしょうか」「お父さんの話を聞いて、礼儀正しい人についてどんなことを考えたでしょう」「まさおもにっこりとほほえんだのは、どうしてでしょう」買い物に出会った若い男の人のさりげない行動を見た主人公の「礼儀」に対する考えの変容を通して、心のもった対応の大切さを知り、誰に対しても心をこめて接しようとする態度を育てる。                  (1) 礼儀正しいとはどういうことか考える。                  (2) 資料「れいぎ正しい人」を読んで話し合う。                  ○校長先生の話を聞いたまさおは、「れいぎ正しい人」をどんな人だと思っていたのでしょうか。                  ○まさおはお父さんの話を聞いて「れいぎ正しい人」についてどんなことを考えたでしょう。                  (3) 自分の生活を振り返って書く。</p>	<p>30 (2)月 118 121頁</p>	<p>電話の向こうはどんな顔</p> <p>電話の取次ぎで、受話器を肩にかけたまま大声を出したり、適当に置いて母を呼びに言っつづのままにか受話器が落ちていたりした話。「なぜ漫画を読みながらお母さんを待ったのでしょうか」「お母さんと岩井さんが話すのをどんな気持ちで聞いていたでしょう」「岩井さんが受話器の向こうでどんな顔を…と言われて洋一はどんなことを考えたでしょう」自己の欲求だけにしがたって行動すると、相手や周囲の人を傷つけることになり、他者よりよい関係を築くためには、誰に対しても心を込めた態度で接することが大切であるということに気づく。                  (1) 自分の生活を振り返り、資料場面に接近する。                  ○電話で長い時間待たされたとき、あなたはどのような気持ちになりますか。ロールプレイをしましょう。                  (2) 資料「電話の向こうはどんな顔」を読んで話し合う。                  ○陽一は、なぜまんがを読みながらお母さんを待ったのでしょうか。                  ○陽一は、お母さんと岩井さんが話すのを、どんな気持ちで聞いていたのでしょうか。                  ○「受話器の向こうでどんな顔をなさっていたんでしょうね。」と尋ねられたとき、陽一は、どんなことを考えたでしょう。                  (3) 自分の生活を振り返って書く。                  ○あなたは、今日の学習を振り返って、これからの生活でどのようなことに気をつけたいと考えましたか。</p>	<p>32 (2)月 124 127頁</p>

文溪堂 1	言葉のまほう	「ぼく」は、新発売のゲームソフトを買いに行って店先で男の子とぶつかり、どなり合って帰った。次の日、スーパーでぶつかった男の子は、丁寧な態度でせいいっぱい謝意を表し、ぼくもにっこりする。 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする態度を養う。	1 (4月) 2,3頁	えがおであいさつ	裕一は、先生から挨拶調べの宿題を出され、不満の思いで帰宅する。しかし調べカードに挨拶を記録した裕一は、挨拶の仕方の問題点に気付く。おばさんと母とのやり取りを通し、真心をこめた挨拶の仕方について気付いた。翌日、元気な挨拶をして、おじいさんからほめられ、心をこめた挨拶の仕方について分かってきたと感じる。 礼儀の大切さを知り、真心と笑顔で挨拶しようとする態度を育てる。	6 (5月) 24,27頁
文溪堂 2	手紙を書くね	みきは、夏休みにいとこのたかひろ君のところで楽しい4日間を過ごした。帰る日に、みきは「手紙をかくね」と約束し、たかひろも「ぼくも書くね」と言ってくれた。次の日、みきは簡単な文面の葉書を送った。たかひろから届いた手紙は、未来が帰った当日に送ったもので心のこもった丁寧な文面だった。みきは自分の手紙の文面が恥ずかしくなり、手紙を書き直すことにした。 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する心情を育てる。	15 (9月)	おみまい	里美は、友達の家が入院したことを聞いて見舞いに出かける。京子の母親から、今は休んでいるから、中で待つように、と言われるが、結局出直そうと考える。翌日に行ったときには、学校の話をするのができたが、時々痛そうに腹をおさえる京子を見て、里美は京子や母親に迷惑をかけないように早めに帰る。 礼儀の大切さを知り、真心を込めて接しようとする態度を養う。	28 (9月) 98,99頁
光村図書 1	電話のおしぎ	電話をかけながらお辞儀をする祖母の話。見えなくても相手に伝わるかも。「おばあちゃんはどうな気持ちで電話で「お辞儀をしているのでしょうか」「今までに心をこめた言葉づかいをしたことやされたことはありますか」 だれに対しても心を込めて接し、互いに気持ちよく生活しようとする態度を育てる。 ①おばあちゃんは、どんな気持ちで、電話でおしぎをしているのでしょうか。 ②今までに、心のこもった言葉づかいをしたことや、されたことはありますか。	19 (10月) 80,83頁	土曜日の学校	きちんと座礼をして始まるお手玉教室勝っても負けても握手をしてくるジミーとちょっと戦いたくなるペーゴマ、刃物の扱いと言葉遣いを厳しく教えてくれる内山さんの話。「あいさつや言葉遣いにはどんな気持ちが籠っているのか考えてみましょう」「これまでどんなあいさつや言葉づかいをしてきたか、振り返ってみましょう」 ※単に気持ちいいからするあいさつ、ではなく、人の交流とあいさつの関連について考えさせられる教材。 だれに対しても心を込めて接しようとする態度を育てる。 ①あいさつや言葉づかいにはどんな気持ちがこもっているのか、それぞれの話から考えてみましょう。 ②これまで、どんなあいさつや言葉づかいをしてきたか、振り返ってみましょう。	13 (9月) 64,67頁
光村図書 2	心をかえる一言	校庭でぶつかった子と「どこ見てるんだよ」「そっちが」と言い合ってイライラ。後日、違う子とぶつかるが、向こうから謝ってきて思わず大丈夫とうなづいた。「最初にぶつかったときどうして言い合いになったのでしょうか」「前の出来事を思い出したとき、どんなことを考えたのでしょうか」 お互いに気持ちよく過ごすためには礼儀が必要なことを知り、礼儀正しくしようとする態度を育てる。 ①「ぼく」は、最初にぶつかったとき、どうして言い合いになったのでしょうか。 ②「ぼく」は、二日前の出来事を思い出したとき、どんなことを考えたのでしょうか。 ③どんな言葉がかけられたとき、気持ちがいいなと思いましたか。	24 (11月) 100,101頁	雪の一本道	雪の一本道での行き会いの礼。立ち止まり、道を空けて一礼して待つ作法を様々な状況で示している。言葉だけのあいさつ・すれ違い出なく、TPOにあわせた行為と共に気持ちを伝えるという礼儀作法の基本がすべてここに含まれている。「おばあさんに道を譲られたひとはどんな気持ちだったのでしょうか」「どんな気持ちで人に接するのが礼儀なのでしょう。話し合ってみましょう」 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする態度を育てる。 ①おばあさんの「なんの、なんの。」には、どんな気持ちが込められているのでしょうか。 ②おばあさんに道を譲られた人たちは、どんな気持ちだったのでしょうか。 ③どんな気持ちで人に接することが礼儀なのでしょう。話し合ってみましょう。	32 (2月) 152,155頁